

町民アンケートなどで出された意見を基に、まちが大切にしていきたいことをまとめ、基本理念・目標・施策を設定し、2018年から2027年までを計画期間とした「第5次山辺町総合計画」を平成29年12月に策定しました。

基本理念 みんながつながる 協働のまち やまのべ

未来につなぐ 自慢のまち

基本目標

- 町民と行政、町民同士が豊かにつながる町を目指します。
- 積み重ねてきた歴史や取り組みを、次の世代につなげていきます。
- 町内外のつながりを大切にしたい取り組みを進めていきます。

目標実現の施策①
一人ひとりの充実した暮らしを育むまち

- ◆ 地域コミュニティを基本とした協働の発展と、地域を越えたつながりづくり
- ◆ 保健、子育て支援、地域福祉の充実



ブロック協議会の活動（中地域）

目標実現の施策②
学び合う文化が息づくまち

- ◆ 学校・地域の教育環境の充実
- ◆ スポーツと生涯学習の充実
- ◆ 教育・文化・経済など多分野における地域間交流の推進



セミナー「Taiken堂」

大切にしていきたい
3つのこと

1. 子育てと元気なまち

すべての子どもたちが健やかに育つまちでありたい。子どもから大人まで、地域住民同士が関わり合いながら暮らせるまちにしたい。



2. こだわりの「ものづくり」のまち

実直で高い志を持つ「山辺人」の「ものづくり」技術を大切に守り、新たな息吹を吹き込み、発信したい。



3. 協働と安全安心のまち

地域コミュニティのつながりを強め、安全対策の実効性を検証しながら精度を高め、安全安心を感じながら暮らせるまちにしたい。



目標実現の施策③
人と自然が共生する資源循環型のまち

- ◆ リサイクルやごみの排出削減、エネルギー消費などに対する意識啓発
- ◆ 水や緑など豊かな自然環境の保全



近江地域の花植え活動

目標実現の施策④
実効性のある行財政の推進

- ◆ 経営感覚を持った質の高い行政運営
- ◆ 財源の効果的・効率的活用と、行政財産の有効活用
- ◆ 消防・医療などの広域的行政間連携



役場庁舎



子ども見守り隊の活動

目標実現の施策⑤
安全で安心して暮らせるまち

- ◆ 防災・防犯・交通安全における地域の自主的な取り組みの支援と、自助・共助・公助による安全安心の確保
- ◆ 道路・河川・公園の継続的な維持



やまのべ・まるごと・フェスティバル

目標実現の施策⑥
活発な産業活動を推進するまち

- ◆ 商工業、観光、農林水産業の振興
- ◆ 新たな起業支援や雇用対策
- ◆ 高品質な技術を価値につなげる取り組みとブランド力の向上

常に変化し、新たに生まれる、まちの自慢

山辺町に生きる人々は、常に新しいものを求め、決して同じところに留まることなく、時代の流れに合わせて変化しながら、ものづくりやまちづくりに取り組んでいます。

およそ10年ごとに発行している町勢要覧でも、その時々で紹介する内容は変わっています。なくなったものがあるれば、新たに生まれ発展し続けているものもあります。また、一見変わらないように見えるものでも、そこには新たな試みや工夫が取り入れられています。

これからも新しい自慢が生まれていくことでしょう。留まることを知らない山辺の自慢に目が離せません。



えんどう なおゆき
山辺町長 遠藤 直幸